

令和7年第5回定例会一般質問通告事項

	星野光男議員（木曜会）	質問方式：一問一答方式
12 月 日	<p>1 日米両国の造船能力拡大に向けた協力の促進について</p> <p>(1) 「海事産業の未来を共創する全国市区町村長の会」について 本市が参加している同会の、現在の構成自治体数や活動内容、また、この会において、平谷市長はどのような課題提言等をしてきたか、これまでの経過と現状についてご報告ください。あわせて、今回の国の造船業再生の方針を受けて、同会として新たにどのような役割が求められるとお考えか、見解を伺います</p> <p>(2) 造船業再生ロードマップと人材確保・人材育成について ア 国が示している造船業再生ロードマップの中で、人材確保・人材育成に関する具体的な方向性や支援策について、市長はどのようなことを望みますか イ 本市内および近隣の造船関連事業者から、人材確保や技能継承に関してどのような要望が寄せられているのか、現状を伺います ウ 今後は国の方針を実現するために、人材の受け入れや居住環境整備など、尾道市としてどのように関わっていこうとされているのかお聞かせください</p> <p>(3) 国際競争力、特に受注価格の水準と日本の優位性、本市の役割について ア 近年の日本・中国・韓国の造船受注価格のイメージや、それぞれの国が持つ特徴・強みについて、どのように把握されているか、お示しください イ 造船再生の動きの中で、本市の造船関連事業者が十分に機会を活かせるよう、国や広島県に対してどのような情報提供や制度要望を行っていくのか。あわせて、港湾機能や各種インフラなど、国や広島県に対して市内の事業者の要望などありますか、お聞かせください</p> <p>2 横田知事誕生と広島県・尾道市の連携について</p> <p>(1) 「農林水産業の生産力を強化し、次の世代へと確実に引き継ぐこと」について</p>	

		<p>ア 柑橘をはじめとする本市の農業や、水産業が置かれている現状から、本市として横田知事が示す取り組みとどのように連携されるのか見解を伺います</p> <p>イ 中山間地域や島しょ部における担い手不足や耕作放棄地の増加といった課題に対して、広島県にどのような制度・事業の拡充や、新たな施策の創設を提案していくこうとされているのか、考えをお示しください</p> <p>ウ 農林水産業の可能性や高付加価値化については、観光・教育・福祉などと結びつけた6次産業化などが大いに期待できる分野であります。こうした取組の更なる進化や広島県と協働で進めていく可能性について、市長の構想があればお示しください</p> <p>(2) 「若者や女性が住みたくなる地域づくり」について</p> <p>ア 横田知事は、「若者や女性が住みたくなる地域づくり」についても重点政策として掲げておられます。本市としては、広島県にどのような取組を進めていただきたいと考えているのか伺います。また、人口減少や若者の流出について県と市町が連携して取り組む事業には何があるのか伺います</p> <p>(3) 「地域の宝を活かした、創造性や文化・歴史を感じられる観光振興」について</p> <p>ア 『しまなみ海道のサイクリング』『箱庭的都市』などの資源を、横田県政の掲げる観光振興の方向性とどのように結びつけ、県と本市がどのように協力して、さらなる発展へつなげていくのか市長のお考えをお伺いします</p>
月	3	<p>3 公共工事の入札・契約の状況と市内事業者育成について</p> <p>(1) 入札不調・中止の発生状況の実態について</p> <p>直近2年間程度で入札発注件数と入札不調・中止となった件数、その割合を報告願います。あわせて、入札不調・中止となった案件について工事種別（建築・土木・電気・機械設備等）、発注金額の規模帯（例：1,000万円未満、3,000万円未満、1億円未満等）、入札方式（一般競争、指名競争）、入札不調・中止に至った主な理由（予定価格超過、入札参加者ゼロ、辞退等）をお示しください</p> <p>(2) 複数回の入札を行った案件の分析について</p> <p>入札不調・中止により複数回の入札を実施した案件について、設計内容の見直し等はどのような方針で行われているかお答えください</p> <p>(3) 認定業者数の推移や競争性の担保</p>
日		

12

月

3

日

- ア 建設工事の市内事業者の状況については微減傾向と受け止めています。市内業者で認定業社を辞められた理由と傾向が分かればお示しください
イ 入札資格の市内認定事業者はAランク、Bランク、Cランク、Dランクの各ランク毎に分類されていますが、それぞれのランクの事業者数はどのようになっていますか。また、例えばDランクからCランク、CランクからBランクにランクが上がる状況について近年の動向を説明してください
- (4) 今後の検討項目・望まれる対応
- ア DXによる報告書類の効率化や提出書類の見直し・削減については行政が率先して研究・実行する分野です。事業者の声をどの様に把握し改善の取り組みが進んでいるか、もしくは今後の方向性を伺います
イ 工事入札や災害対応では事業者の数や従業員数など、業界全体のボリュームが必要です。本市としては今後の動向をどのように認識して取り組みを進めるか見解を伺います
ウ 入札データや工事種別・地域別の傾向、事業者の声を定期的に整理し、公表したうえで、建設業界団体や有識者も交えた「入札・契約制度検討の場」を設けることで、事業者も人材確保の計画や事業者同士の協力体制構築の意識を持ちやすくなるのではないかと考えます。本市として、そのような継続的な検証・改善の枠組みについて見解があれば伺います